

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	01	01	0403	福祉ボランティア活動支援事業

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	健康福祉部	地域福祉課	赤坂秀樹	593

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	---

	25 年度	当初(現計)	補正	25 年度	26 年度
事業費	1,252				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,252			

《事業目的》

ボランティア活動の支援

《事業開始の背景》

市内で活動するボランティア福祉団体やボランティアに関心のある市民のために、地域に密着した福祉活動の情報を提供し、市内のボランティア活動の拠点として開設するボランティアセンターへの支援

《事業概要》

○福祉ボランティア登録推進  
○福祉ボランティア活動推進  
広報で啓発、ボランティア懇談会の開催、ボランティア等活動情報ボードの利用  
ボランティアの育成・研修、福祉入門講座の開催、点字ボランティア養成講座の開催、要約筆記ボランティア養成講座の開催  
ボランティアの相談・登録・紹介、個人や団体登録者へボランティア登録の呼びかけ、利用の推進  
東日本大震災への対応、沿岸被災地へボランティアの派遣

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(計画)
① 福祉ボランティア活動参加者数	人	目標	3,500	3,500	
		実績	2,481	3,341	
② 福祉ボランティア活動件数	件	目標	880	880	
		実績	693	848	
③		目標			
		実績			

《事業手法の詳細》

**【ボランティアセンター事業補助金 1,252千円】**

○事業内容 (事業主体：花巻市社会福祉協議会)  
 (1) ボランティアに関する広報・啓発の推進  
 (2) ボランティア養成・研修事業の推進  
 (3) ボランティア育成の推進  
 (4) 市社協福祉協力校の推進  
 (5) ボランティアに関する相談・登録・斡旋  
 (6) 災害時に備えたボランティア体制の構築  
 (7) 花巻市ボランティア・NPO情報ホームページ運営管理の強化  
 (8) 福祉バザー、福祉まつり等住民参加事業の推進  
 (9) 福祉・ボランティアイベントへの参加・協力  
 (10) 福祉センターの利用貸出及び福祉機器・ライブラリーの整備、貸出  
 (11) ボランティア保険への加入促進

○総事業費(内訳)  
 3,252千円(うち会議費86千円、事業費532千円、事務費1,601千円、人件費1,033千円)  
 (補助割合は事業費に係る経費の1/2以内)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業J-D*	事業名
一般	03	01	01	0403	福祉ボランティア活動支援事業

総合計画	政策	保健・医療・福祉のネットワーク	施策	高齢者や障害者がまちで暮らす真のノーマライゼーションへの取り組み
	3	ク拡充で安心のまちづくり	3-3	
目的	ボランティア活動の支援			
対象	市民、団体			
意図	ボランティア活動に参加する市民が増える。			

《事業概要》

○福祉ボランティア登録推進  
○福祉ボランティア活動推進  
広報で啓発、ボランティア懇談会の開催、ボランティア等活動情報ボードの利用、ボランティアの育成・研修、福祉入門講座の開催、点字ボランティア養成講座の開催、要約筆記ボランティア養成講座の開催、ボランティアの相談・登録・紹介、個人や団体登録者へボランティア登録の呼びかけ、利用の推進、東日本大震災への対応、沿岸被災地へボランティアの派遣

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 福祉ボランティア登録者数	人	計画	20,000	20,000	
		実績	17,549	17,514	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 福祉ボランティア活動参加者数	人	目標	3,500	3,500	
		実績	2,481	3,341	
② 福祉ボランティア活動件数	件	目標	880	880	
		実績	693	848	
③		目標			
		実績			

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
福祉ボランティア活動への参加者や活動件数が減少した要因は、東日本大震災に伴う災害ボランティア活動従事への増加の反動によるものであり、総合的なボランティア活動参加者数は増加している。				

《環境変化、意見・要望》

点字訳、要約筆記ボランティアは、各種行事に活動要請があり、利用者から感謝されている。特に災害の発生を契機にボランティアを行いたい方やボランティアを受けたい方々のコーディネートの要望がある。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	地域における地域福祉コミュニティの形成と地域を支えるボランティアの育成及び普及啓発や、ボランティア活動行いたい市民にボランティア活動の場を提供するなど社協単独ではできかねていること、また、社協から市の支援を求める声があることから、市が関与する必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	広報誌や各種イベント、福祉施設などでボランティア活動を啓発し、地域での共助やボランティアの必要性・重要性を再認識していただき、増加傾向にあるボランティア活動への参加者の裾野を広げ、より多くの市民がボランティア活動へ参加することで、ボランティア活動の件数が向上する。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	社会福祉協議会が行っている事業への必要最低限の補助であり、必要最小限の人員分の人件費であることから、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	事業の対象は市内全域であり受益の機会均等である。

《総合評価》

広く市民にボランティアの必要性や重要性、ボランティアセンターの活動内容などを周知するため、広報誌、ホームページ、コミュニティFM、各種イベントで積極的にボランティア精神の醸成の推進を図った。また、ボランティア活動の裾野を広げるため、気軽にボランティア活動に参加できる体制の整備に引き続き努めていく必要がある。